

多目的運動広場の進捗状況は

市長 順調に進んでいる。



吉田 幸一郎 議員

議員 本市には、旧町が所有していた公共施設が多く、5割以上が建築後35年以上を経過しており、大規模改修や建て替え等の時期を一齐に迎える。そのようなことから、公共施設の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行う必要があるが、現状の取組と今後の計画はどうか。

市長 令和2年3月に策定した南島原市公共施設等総合管理計画の個別施設設計画に沿って、統廃合や廃止などを進めている。今後は、第1期計画の進

捗状況や施設の状況を考慮して、令和9年度以降の第2期個別施設設計画の策定に取り組んでいく。

議員 管理計画を進めていけば、廃止や除去していかなぎやいけない施設も出てくるが、市民に理解してもらうためには、どのようなことをしているのか。

副市長 非常に利用が少ない施設や特定の人たちしか利用していない施設も多数ある。そういうふうな施設から実情を示し理解してもらおうのが先決ではないかと思っている。

みずなし本陣について

議員 相手から断られたという話で、非常に残念に思うが、撤退されたときの市としてマイナス面はどう想定しているか。

地域振興部長 500人規模で昼食が取れるという施設が島原半島に1つしかなく、修学旅行や雲仙岳の被災家屋の保存公園などの観光ルートによる人の流れが変わり、人が

激減し、地域の雇用が無くなり、そこで消費をさされていた分の経済的な影響も大きいのではないかと、どうふうを考えている。

議員 設立の思いや災害の歴史を含めて言えば、ちよつと簡単に結論が出たんじやないかなと思うが、その点についてはどのように考えているか。

副市長 提示した金額と折り合いがつかなかったということでの結論なので、やむを得ないんじゃないかと思っている。

議員 運営会社が変われば、成功した例はたくさんある。世界遺産センターや物産館の計画もあるのであれば、もう一度冷静に協議し活用も含めて考える必要がある。



道の駅みずなし本陣ふかえ



質問の様子を動画で見よう

本市も天草市も離島航路への思いは同じだと思うが

市長 重要な航路であり維持は絶対必要。



中村 久幸 議員

離島航路について

市長 長崎県交通政策課と長崎運輸支局で情報の収集を行い、先月初めには、本市、天草市、長崎県、島原鉄道との4者による検討会を実施した。

議員 天草市、長崎県、島鉄、4者での協議で、また、県や運輸局での話を聞かれてどのような検討をされたのか。

地域振興部長 県では主に補助制度について対象となる航路事業が経常的に赤字であるなどの要件があり、現行制度の補助事

業の適用は容易ではないと伺った。

島原鉄道としては、国庫補助対象事業にできるのか判断をするために、まずは航路の利用状況などの調査を実施すると聞いた。今後は島鉄の航路の利用実態調査の結果を見て、関係者で協議を進めていく。

議員 協議・検討が国庫補助を受けるためのようになつてはいるが、前回の市長の答弁は、離島航路の認定が前提だったはず。国交省が「口之津と鬼池を結ぶこの航路については、半島間を結ぶ航路ではあるが、離島航路整備法による、船舶以外の交通機関によることが著しく不便である地域間を連絡する航路とし



口之津 - 鬼池島鉄フェリー

て、まさに離島航路に該当することをしっかりと明確にしていきたい」と答弁されたことによつて離島航路になると。

部長も離島航路整備法を読まれたと思うが、そこには赤字でなければいけないとかいう条文は載っていない。ただ、補助を受けるときは経常的な赤字が必要だと。だからまずは離島航路の認定をどうやって取り付けるか、離島航路にすることをまず先に考えるべきではないか。

地域振興部長 私どもは、離島航路の認定の有無は、支援を受ける時点で初めて出てくると理解をしている。

議員 赤字になったとき、国庫補助を受けられるのは離島航路の認定が条件だから、まずは、認定を受けられる条件、必要な航路だから、なくしてはならない航路に該当するわけなので、本市も天草も離島航路に位置づけおきたいという思いは同じだと思うが。



質問の様子を動画で見よう